

発表  
 機関

令和6年9月27日（金）  
 沖縄労働局 職業安定部

担  
 当

沖縄労働局 職業安定部  
 職業安定部長 中島 千勝  
 職業安定課長 真壁 朝文  
 地方職業安定監察官 守内 英樹  
 ☎ 098-939-8010

## 令和5年度のハローワークのマッチング機能に関する 業務の総合評価の結果等について

沖縄労働局（局長 柴田 栄二郎）では、平成27年度から目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「ハローワーク総合評価」を実施しており、サービスの質の向上に向け、継続的に取り組んでいるところです。

今般、令和5年度における各ハローワークの評価結果及び業務の取組（総括）を取りまとめましたので別添のとおり公表します。

### 1. 各ハローワークにおける評価結果

- ハローワーク那覇 ⇒ 「良好な成果」
- ハローワーク沖縄 ⇒ 「標準的な成果」
- ハローワーク名護 ⇒ 「標準的な成果」
- ハローワーク宮古 ⇒ 「標準的な成果」
- ハローワーク八重山 ⇒ 「標準的な成果」

※評価区分(類型1～4)

類型1「非常に良好な成果」

類型2「良好な成果」

類型3「標準的な成果」

類型4「成果向上のため計画的な取組が必要」

### 2. 各ハローワークにおける業務実績

項目	就職件数 (一般)	求人充足 数（一 般、受理 地ペー ス、オン ライン自 主応募 含）	雇用保険 受給者の 早期再就 職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワーク の職業紹 介により、 正社員就 職につい た就職水 河期世代 の不安 定就労者 ・無業者 の件数	生活保護 受給者等 の就職率	障害者の 就職件数	新卒者支 援に係る 就職支 援ナビ ゲーター の支援に よる新 規卒業 予定者 等(既 卒者含 む)の 正社員 就職件 数	ハロー ワーク の職業 紹介に よる、 正社員 就職に 結びつ いたフ リータ ー等の 件数	公的職業 訓練の修 了3ヶ月 後の就 職件数	マザーズ ハロー ワーク 事業に おける 担当者 制による 就職支 援を受け た重点 支援対 象者の 就職率	人材不足 分野の就 職件数	生涯現 役支 援窓 口 65歳 以上 の就 職件 数	
那覇所	目標	8,721	8,985	3,784	90.0%	90.0%	496	65.0%	884	2,553	65.0%	466	95.1%	2,072	246
	実績	8,223	8,730	3,633	74.4%	97.8%	491	71.1%	933	2,601	63.8%	727	104.2%	2,053	281
沖縄所	目標	6,464	5,547	2,684	90.0%	90.0%	376	64.7%	624	-	65.0%	373	95.1%	2,071	155
	実績	6,142	5,505	2,736	85.3%	98.2%	447	80.3%	656	-	56.3%	587	97.1%	1,949	176
名護所	目標	2,110	1,800	654	90.0%	90.0%	143	59.2%	130	162	65.0%	83	-	554	75
	実績	1,883	1,648	577	92.6%	98.0%	176	80.2%	130	188	78.3%	143	-	562	90
宮古所	目標	1,741	1,504	322	90.0%	90.0%	70	-	57	108	-	24	-	402	-
	実績	1,768	1,714	326	80.4%	98.9%	82	-	61	88	-	24	-	341	-
八重山所	目標	1,535	1,446	342	90.0%	90.0%	65	-	75	108	-	34	-	237	-
	実績	1,548	1,514	349	78.6%	96.7%	51	-	103	110	-	38	-	302	-

※黄色色の網掛け部分は目標達成を表示

### 3. 公表資料

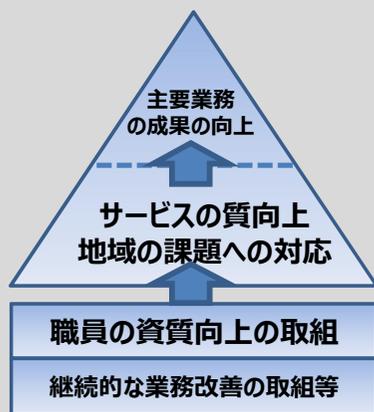
- (1) 「ハローワークマッチング機能に関する総合評価の概要」
- (2) 「令和5年度におけるハローワークのマッチング機能に関する業務実績」
- (3) 各ハローワークの「就職支援業務報告（令和5年度）」

# ハローワークマッチング機能に関する総合評価の概要

- 平成27年度から、目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「ハローワーク総合評価」を開始。
- 例年、すべてのハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況等に応じた4段階の相対評価等を実施。次年度以降の業務改善に繋げる。また、取組状況や評価結果は公表し、審議会（労働政策審議会（本省）や地方労働審議会（労働局））にも報告。
- (1)目標管理、(2)実績公表・相対評価、(3)評価結果に基づく業務改善といった一連の流れを続けることにより、サービスの質の向上に向けた取組を継続的に実施。

## (1) PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 従来の取組（就職率等の主要指標に基づくPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、
  - ① 業務の質に関する補助指標
  - ② ハローワーク毎に、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する所重点指標
  - ③ 中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である所重点項目を加え、総合的な観点から目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく、  
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り、  
マッチング機能を強化

## (2) ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- 業務の成果（主要指標）を毎月公表。
- 年度終了後、業務の成果（主要指標・所重点指標）や質（補助指標）、職員の資質向上・業務改善の取組（所重点項目）の実施状況を踏まえ、ハローワーク毎に総合評価を実施。
- ハローワーク毎に総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。



重点的に取り組んだ事項、  
業務改善を図った事項、  
業務改善が必要な事項、  
総合評価、指標ごとの実績  
及び目標達成状況などを公表。

- 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

## (3) 評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施。
  - ① 評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導。
  - ② 一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導。
  - ③ 相対的に高評価であったハローワークにおける取組事例を全国展開。

次年度以降も  
(1)～(3)を実施

# 令和5年度におけるハローワークのマッチング機能に関する業務実績

項目	指標	全所必須指標					所重点指標									
		主要指標			補助指標											
	就職件数 (一般)	充足数 (一般、受理地 ベース、オンラ イン自主応募 含)	雇用保険受給 者の早期再就 職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの 職業紹介によ り、正社員就 職に結びつい た就職氷河期 世代の不安定 就労者・無業 者の件数	生活保護受給 者等の就職率	障害者の 就職件数	新卒者支援に 係る就職支援 ナビゲーター の支援による 新規卒業生 等(既卒者含 む)の正社員 就職件数	ハローワーク の職業紹介に よる、正社員 就職に結びつ いたフリーター 等の件数	公的職業訓練 の修了3ヶ月 後の就職件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援 対象者の就職 率	人材不足分野 の就職件数	生涯現役支 援窓口65歳 以上の就職 件数		
沖縄局	目標	20,571	19,282	7,786	90.0%	90.0%	1,150	64.6%	1,770	2,931	65.0%	980	95.1%	5,336	476	
	実績	19,564	19,111	7,621	81.4%	97.9%	1,247	73.9%	1,883	2,987	61.2%	1,519	101.1%	5,207	547	
那覇所	目標	8,721	8,985	3,784	90.0%	90.0%	496	65.0%	884	2,553	65.0%	466	95.1%	2,072	246	
	実績	8,223	8,730	3,633	74.4%	97.8%	491	71.1%	933	2,601	63.8%	727	104.2%	2,053	281	
沖縄所	目標	6,464	5,547	2,684	90.0%	90.0%	376	64.7%	624	-	65.0%	373	95.1%	2,071	155	
	実績	6,142	5,505	2,736	85.3%	98.2%	447	80.3%	656	-	56.3%	587	97.1%	1,949	176	
名護所	目標	2,110	1,800	654	90.0%	90.0%	143	59.2%	130	162	65.0%	83	-	554	75	
	実績	1,883	1,648	577	92.6%	98.0%	176	80.2%	130	188	78.3%	143	-	562	90	
宮古所	目標	1,741	1,504	322	90.0%	90.0%	70	-	57	108	-	24	-	402	-	
	実績	1,768	1,714	326	80.4%	98.9%	82	-	61	88	-	24	-	341	-	
八重山所	目標	1,535	1,446	342	90.0%	90.0%	65	-	75	108	-	34	-	237	-	
	実績	1,548	1,514	349	78.6%	96.7%	51	-	103	110	-	38	-	302	-	

※濃い黄色の網掛け項目は目標達成を表示

# ハローワーク那覇 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

当所では、主要3指標（就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を最重要と位置づけ、求人者に対しては、労働条件緩和の働きかけによる良質求人の確保、事業所訪問時における能動的マッチングの強化、雇用保険受給者への早期再就職促進に重点的に取り組みました。

求職者への取組みとしては、新規求職申込みの際、積極的な求職者マイページの開設勧奨を行い、求人情報や事業所説明会等のイベント情報を提供しました。また、雇用保険受給者に対しては、初回認定日全員相談を引き続き行い、給付制限のある雇用保険受給者に対しては、再就職手当の活用を促す「ワンステップセミナー」と窓口相談をセットにした応当日相談を実施し、早期再就職への意欲喚起を図りました。人手不足分野への取組みとしては、令和5年9月に「観光関連求人充足キャンペーン」と題し、庁舎内に観光関連求人充足キャンペーンコーナーを設置し、関連する動画の放映のほか事業所情報を貼り出しする等、観光関連事業所の魅力発信に取り組みました。また、雇用対策協定を締結している管内自治体の庁舎内においても、観光業の事業所を招いた企業説明会（ジョブパーラー）を開催し、多くの求職者の参加があり好評を得ました。

求人者に対しては、求職者から「職場の働く環境について詳しく知りたい」、「職場で働いている方の声が聞きたい」等の声が聞かれたことから、「求人WORK」と題して、求人者支援員が事業所訪問した際に集めた企業情報を、紹介担当者に対しプレゼンしたうえで対象企業として、庁舎内に事業所の働く環境（現場）の写真や従業員の生の声を伝える掲示物を貼り出し、その後の応募状況や求職者の声を事業所にフィードバックすることで、求職者ニーズに対応した求人条件の緩和に繋げることができ、事業所からは好評の声をいただく取組みとなりました。

#### ② 長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、キャリア・コンサルタント資格取得を推奨しており、職員等の職業紹介技法の向上のため、労働局主催のキャリアコンサルティング研修に4名の職員を送り出しました。

また、総合案内を含めた一般職業部門及び給付課職員を対象に、障害者や生活困窮者、長期療養中の求職者等、より手厚い就職支援が必要な方を確実に専門の窓口につなげられるよう「専門援助部門への誘導に関する研修」及び「長期療養事業の説明の仕方」についての研修を実施しました。

## (2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

- ・従前から実施している求職者に対して直接、企業PRできる機会として開催している企業説明会については、求職者の参加は多いもののなかなか応募に繋がらないという課題があったことから、今年度より、履歴書不要（エントリーシート活用）で気軽に参加できる「カジュアル企業説明会・面接会」に見直しを図ったところ、応募者も増え、参加事業所からも好評を得ており、引き続き開催を予定しています。
- ・求人者充足支援の充実・強化を図るため、求人部門と紹介部門が一体的に取り組む「求人充足支援サービス実施要領」を新たに策定し、マッチング機能の強化及び求人者支援員の専門性向上を図り、さらに、求人者サービスの充実を図るため求人者担当者制をこれまでの事業所担当者制から分野別担当者制に変更しました。
- ・求人者満足度調査の結果から、「求人の有効期限切れを知らなかった」「期限切れの連絡がほしい」等の声が聞かれたことから、求人者の有効期限が到来する2～3日前を目処にすべての求人者に対し、求人者の有効期限切れが近づいている旨の案内を行うよう改善を図りました。

## (3) その他の業務運営についての分析等

経済の活動が活発化し人材の需要が増加する中、求職者についてはSNSを利用する若年者のハローワーク離れが見られる一方で、シニア層については増加傾向にあり、ハローワークを利用する求職者の二極化が進んでおり、今後、一層の人手不足が懸念されます。このような状況下において、当所においては、職員一人ひとりのマッチング技能向上を図り、求職者の個々の状況に応じた就職支援を実施することにより安定した就職を実現できるよう、公共の就職支援機関としての役割を最大限に発揮してまいります。

## (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

令和5年度の管内有効求人倍率は1.05倍（前年度0.91倍）、月間有効求職者数178,156人で前年度比5.9%減少（11,236人）、月間有効求職人数186,179人で前年度比6.2%増加（10,945人）、就職件数は8,245件で前年度比2.8%（236人）減少となりました。県内の経済

状況は新型コロナの5類以降後、昨今の物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要があるものの、観光関連を中心に国内外からの入域観光客数の増加とともに、経済は回復し、雇用情勢も改善傾向が続いている中、観光関連産業を中心に求人増加の状況にあります。しかし、人材不足の影響は大きく、卸売業・小売業や宿泊業を中心に人手不足感が一層強まっております。

このような状況下において、当所としては引き続き、求職者に対しては、求職者マイページ及び労働局公式SNS等を活用した積極的な求人情報及びイベント情報等の提供を行ってまいります。また、求人者に対しては、求人条件緩和の提案による良質求人の確保を推進しつつ、関係機関と連携を図りながら、企業説明会・面接会を通じた能動的マッチングの強化に取り組んでまいります。また、特に年々増加傾向にあるシニア世代の求職者に対しては、それら求職者への支援を強化するため、関連部門で結成したシニアチームによるイベントやセミナー等を積極的に開催する一方、求人者に対してはシニア向けの仕事の切り出しを提案し、シニア応援求人の確保に向けて積極的に取り組んでまいります。

## 2 特記事項

- ・雇用対策協定については、管内3番目となる県内最大都市の那覇市と雇用対策協定を令和5年8月に締結することができました。引き続き、協定締結市（浦添市・南城市・那覇市）との連携を深め、具体的な取組の実現に向けた協力体制を築いてまいります。
- ・障害者雇用に取り組む優良な中小事業主に対する認定制度である「もにす認定制度」については、令和6年2月に当所管内の（株）琉葉が認定されました。当該事業所は、積極的に障害者雇用に取り組んでおり、さらに障害者実雇用率も高いことから、管内で初となる「もにす認定」企業誕生となりました。

### 3 総合評価 (※)

良好な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワーク の職業紹介により、 正社員就職に結び ついた就職 氷河期世代の不安 定就労者・ 無業者の 件数	生活保護 受給者など の就職率	障害者の 就職件数	新卒者支 援に係る就 職支援ナビ ゲーターの 支援による 新規卒業 予定者等 (既卒者含 む)の正社 員就職件 数	公的職業 訓練終了3 ヶ月後の就 職件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者 制による就 職支援を 受けた重 点支援対 象者の就 職率	人材不足 分野の就 職件数	生涯現役 支援窓口 での65歳 以上の就 職件数
令和5年度目標	8,721	8,985	3,784	90.0%	90.0%	496	65.0%	884	2,553	466	95.1%	2,072	246
令和5年度実績	8,223	8,730	3,633	74.4%	97.8%	491	71.1%	933	2,601	727	104.2%	2,053	281
目標達成状況	94%	97%	96%	未達成	達成	98%	109%	105%	101%	156%	109%	99%	114%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は年度当初に設定した目標値に対する「達成率 (端数切捨て)」又は「達成」・「未達成」で表示。

# ハローワーク沖縄 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

当所では、求職者及び求人者に対するきめ細かな支援を実施するため、主要3指標（就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）を中心に業務に取り組んできました。就職支援及び雇用保険受給者の早期再就職支援については、職業相談時における求職者への丁寧な聞き取りに努め、求職者のニーズを把握したうえで、それに応じた就職支援サービスに速やかに繋げられるよう取り組みました。具体的には求職者担当者制による個別就職支援を積極的に実施し、就職活動を進めるうえでの課題の把握、求人の詳細情報の提供、応募書類作成及び面接支援等を継続的に行う就職支援を進めました。また、キャリアチェンジを含め職業選択に迷う求職者に対しては「自己理解」、「仕事理解」を深めることを目的とした各種セミナーや求人説明会等の開催にも積極的に取り組みました。

さらに求職者に対しては、ハローワーク利用のオンライン化に伴う「求職者マイページ」の開設推進にも積極的に取り組み、開設されたマイページを通しての最新の求人情報や就職支援情報の速やかな提供にも取り組んでいます。また、ハローワークを利用したことのない求職者に対しては、労働局ホームページやSNS等を活用して、ハローワークで実施している就職支援サービスを周知しているほか、管内の自治体等へハローワーク支援メニューリーフレット等を配布し、さらに自治体のホームページを活用してハローワークの利用周知に取り組みました。

求人充足支援については、業界別の求人担当者制により業界ごとの情報収集や分析を速やかに行い、得られた事業所情報や求人情報を基に、職業相談の中で得られた求職者ニーズを求人充足会議やミーティングの場で共有したうえで、求職者に対する企業情報の提供や庁舎内に求人情報を掲示するなど求人者サービスの充足を図りました。また、職業相談部門と連携し、業界理解セミナーや事業所見学・体験会の実施にも積極的に取り組みました。

これらの取組については、令和6年度においても改善を図りながら継続して実施してまいります。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取り組み

職員の中長期的な資質の向上に向けて、業務に不可欠な事項・情報については計画的・積極的に研修を実施し、ハローワーク窓口の利用者サービスに繋げるよう努めました。また、本省が実施する情報セキュリティ、個人情報保護管理、公務員倫理、メンタルヘルス、

文書管理等の様々なオンライン研修についても積極的に受講させ、職員の資質向上に取り組みました。

## (2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

### ① 人手不足分野を中心とした求人充足対策

特に、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」への移行後は経済活動も活発化し、人手不足分野を中心に多くの業種で「人手不足」の状況となり深刻な問題となっていることから、ハローワークとしても求人の充足対策に重点を置き、各種支援に取り組みました。具体的には業界別の求人担当者制により、事業所に対しては求人作成時から求人充足（マッチング）までのきめ細かな対応を行うとともに、職業相談においては求職者担当者制（個別就職支援）の内容を充実させ、きめ細かな職業相談を実施したほか、情報提供、面接会・企業説明会等の積極的な実施に取り組みました。

### ② ふるさとハローワークの周知

宜野湾市役所及びうるま市役所に設置する「ふるさとハローワーク」の利用周知に取り組み、案内看板やのぼり旗の設置、市内事業所による求人説明会を積極的に開催しました。

### ③ 障害者対象求人開拓の強化

障害者の雇用促進を図るため、障害者支援機関等と連携した事業所訪問を積極的に実施し求人開拓に取り組みました。

## (3) その他の業務運営についての分析等

職業相談時においては傾聴を心掛けた職業相談等の基本業務の徹底により、求職者のニーズや課題を的確に把握し、個別支援や各種セミナーへの参加など、必要な支援に速やかに繋がれるよう取り組みました。また、求職者と事業所がより近い環境で接触できるよう、業界理解セミナーやお仕事見学・体験会の開催を積極的に行いました。

また、求人充足対策についても、業界別求人担当者制により事業所に対し、きめ細かなニーズ把握と充足支援の実施に取り組みました。

これらハローワークにおけるマッチング精度の向上を図るため、職員の資質向上及び知識向上を図るべく様々な研修等にも取り組みました。

## (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

### ① 的確なマッチングの実現

引き続き積極的に求人者及び求職者ニーズの把握につとめ「充足会議」や「個別支援」を実施します。

求職者に対しては「各種セミナー」へ誘導することにより、自己理解、仕事・業界理解、応募意欲喚起を進める等、必要な就職支援に速やかに繋げる体制を整え、効果的なマッチングに繋がるよう取り組みます。

事業所と求職者のマッチングや情報収集の機会を設けるため、「お仕事理解セミナー」や「求人者説明会・面接会」を積極的に実施します。

## ② 求人充足対策の強化

産業別求人者担当者制により、引き続き事業所に対する積極的な訪問や働きかけを行い、ハローワーク支援メニューの周知に取り組み、また、求人者ニーズの把握・情報収集に努め、把握・収集した情報を充足会議の場で、紹介担当者と共有したうえで、求職者に対して事業所をPRし、さらに「求人説明会・見学会」の実施など、求人充足に向けた支援の実施・強化に取り組みます

## ③ ハローワーク利用促進の取組

求職者のハローワーク利用を促すための周知（労働局ホームページやSNSを活用したイベント情報発信及び管内自治体等と連携した周知広報）について継続して取り組みます。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介により、正社員に結び付いた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	生活保護受給者等の就職率	障害者の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での45歳以上の就職件数
令和5年度目標	6,464	5,547	2,684	90.0%	90.0%	376	64.7%	624	95.1	2,071	155
令和5年度実績	6,142	5,505	2,736	85.3%	98.2%	447	80.3%	656	97.1	1,949	176
目標達成状況	95%	99%	101%	未達成	達成	118%	124%	105%	102%	94%	113%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は年度当初に設定した目標値に対する「達成率(端数切捨て)」又は「達成」・「未達成」で表示。

# ハローワーク名護 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

当所においては、主要3指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を最重要事項として位置づけ、朝礼にて求人者支援員から「おすすめ求人」、「求職者ニーズの高い求人や要件緩和を行った求人」、求人者支援員が収集した「求人票には記載されない細かな情報」を紹介し、スピーディーに求人充足が図れるよう紹介担当と情報を共有しました。

また、職業相談では、対応前に希望条件に近い求人情報を準備した上で情報提供を行うこと、求職票記載内容の充実化を徹底しました。雇用保険受給者の早期再就職については、初回講習セミナーにおいて、早期再就職のメリットの説明を行うとともに、求人事業所を招いて、直接、雇用保険受給者に対し企業PRしていただくことで求職者の就職意欲を喚起し、さらに失業認定日においては、職業相談を行った上で失業認定を受ける流れとする全員相談を行うことを徹底しました。

また、雇用保険受給者については、求職者担当者制による重点支援対象者として、個別の就職支援を行いました。

その他、人材不足分野における人材確保の取り組みとして、分野別の求人者担当者制を実施し、求人票の記載内容の見直しや条件緩和を提案するとともに、自治体との連携による各種支援制度の案内、分野別求人情報誌の作成、セミナー開催（介護・観光・保育・看護）、施設見学会（観光・介護）を行いました。観光業については、令和5年9月の「観光関連求人充足キャンペーン月間」に、セミナーの開催と併せて特集コーナーの設置、待合室のデジタルサイネージにてPR動画の放映を行いました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所において、求人業務研修、職業相談研修、労働基準法研修、求職者マイページ活用に係る研修を行い、職員のスキル向上を図りました。

その他、職員の意識向上及びハローワークサービスの質の向上のため、所長によるPDCA研修を行いました。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

専門相談員同士がお互いの支援内容や業務状況、今後取り組みたいこと、課題等を共有する「連携促進ミーティング」を毎月開催してお

り、その中で提案された新たな企画として、応募書類添削・面接対策等の個別支援をもっと気軽に申し込んでいただけるよう「予約相談DAY」の設定、障害者を対象として実際の業務を一部体験いただく「体験型企业説明会」の開催、ハローワークサービスに対する職員の意識啓発のため、始業時に「ハローワーク憲章の館内放送」を実施し、来所者へのサービス向上・業務改善に取り組みました。

### **(3) その他の業務運営についての分析等**

令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、管内主要産業である観光産業（宿泊・サービス）の求人数が減少していましたが、令和4年度から回復傾向に転じ、求人数が増加し人材不足に拍車がかかる状況です。今後、管内に大型テーマパークの開設が予定されていることもあり、人材確保対策が重要な課題となっています。

### **(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性**

介護・看護・保育・建設・警備・運輸等の人材不足分野を中心に、各業界の魅力発信と賃金等の求人条件の向上や求人条件緩和の働きかけを行い、より質の高い求人確保と求職者ニーズを踏まえた求人の開拓を併せて行ってまいります。

その他、求職者マイページの活用を積極的に周知し、迅速な求人情報の提供を行うとともに、「ハローワークを利用したい」と思っただけよう担当者制による職業相談や課題解決支援サービス等、個別のニーズに応じた就職支援を実施してまいります。また、SNS等を活用した情報発信により、ハローワークサービスの周知を図り、より多くの方にハローワークの利用を促し、マッチングに取り組んでまいります。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの 職業紹介によ り、正社員に結 びついた就職氷 河期世代の不安 定就労者・無業 者の件数	生活保護受給者 等の就職率
令和5年度目標	2,110	1,800	654	90.0%	90.0%	143	59.2%
令和5年度実績	1,883	1,648	577	92.6%	98.0%	176	80.2%
目標達成状況	89%	91%	88%	達成	達成	123%	135%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は年度当初に設定した目標値に対する「達成率(端数切捨て)」又は「達成」・「未達成」で表示。

# ハローワーク宮古 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

当所では、主要3指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を最重要と考え、次の1～3について取り組んだ結果、主要3指標全てにおいて目標を達成することができました。

#### ○求人者サービス

- ・受理した求人について、注目箇所をマーカーして所内に掲示するとともに、部門内でも詳細情報を回覧することで、情報共有を図り早期充足を目指しました。
- ・ミニ企業説明会を年間60回（参加事業所30社）開催し、求職者323名の参加、そのうち12名の就職に繋がりました。（令和6年4月11日現在）
- ・ミニ企業説明会の参加者の呼びかけを強化するため、雇用保険受給者を対象とした初回講習会での案内や、宮古島のLINEへの掲載依頼を行い幅広く周知を行いました。
- ・求職者ニーズ把握のためのアンケートを実施し、その結果をもとに求人者に対して、社会保険等の福利厚生の実態を呼びかけました。

#### ○求職者サービス

- ・雇用保険受給者の早期再就職を促すことを目的として、初回講習資料の中に再就職手当のシミュレーション資料を盛り込み説明を行いました。また、就職支援ウェブサイト「Job tag（ジョブタグ）」の活用についても周知し、自己理解や就職への意識喚起を促しました。
- ・能動的マッチングの推進を図るため、電話やダイレクトメールによる求人情報提供を積極的に行い、応募書類の作成支援、就職支援セミナー等への参加勧奨などにも取り組みました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・外国人労働者が増えている現状に対応するため、外国人求職者の支援について所内研修を行いました。
- ・ハローワーク窓口の相談においては、労働法の知識が必要となるため、労働基準監督署と連携した研修を実施しました。

## (2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

令和4年7月から再開したミニ企業説明会については、周知を強化したうえで参加勧奨を行い、令和4年度101名→令和5年度323名と参加者が3倍以上に増加しました。

また、学卒業務については、早期の求人提出について周知・広報を行い、7月末までに提出された求人数が、年間の87.0%と沖縄県全体の78.0%を大きく上回る結果となりました。さらに、若年者地域連携事業を活用した企業説明会を7月に開催し、企業14社、生徒31名の参加があり、早期就職への意識啓発を行いました。

前年度に取り組みが進まなかった求職者担当者制については、常時2名の担当者制を実施し、実施要領についても見直しを行いました。

## (3) その他の業務運営についての分析等

前年度に引き続きシニア向け求人の確保に努め、シニア向け求人の所内掲示及び一覧表を配布することで応募勧奨を行いました。また、生涯現役地域連携事業における「シニアのための就職支援セミナー」や「シニアのためのお仕事紹介フェア2023」の共催者として、求職者への積極的な参加を呼びかけ、合計77名の参加、23名の就職に繋がりました。

砂糖製造業の求人充足対策に係る取り組みとして、賃金以外のインセンティブの記載の充実に努めるとともに、安定所入口ロビーに求人票と併せて事業所の写真を掲示し、求職者に対し応募勧奨を行いました。

## (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

観光関連産業を中心に深刻な人手不足の状態が継続しているため、関係機関と連携し、業界の魅力発信等の雇用対策の充実に努めます。

求職者マイページについては、リーフレットを作成するなどして開設を呼びかけるも、思うように普及が進んでいないため、PR方法等含めた改善を図ってまいります。

障害者雇用について、障害者就業・生活支援センター等と連携し、障害者の就職支援や定着支援を行います。また、障害者雇用率未達成企業については、課題を整理するなど、雇用率達成に向けた対策を行ってまいります。

新規学卒者の就職支援として、学卒求人の早期提出、企業説明会の開催、就職が困難な生徒へ必要に応じた関係機関への繋ぎを行うなど、連携した支援に取り組めます。学卒業務については、まだまだ生徒の動き出しが遅いため、次年度以降も学校等の進路担当者と連携した早期の活動を促す取り組みが必要です。また、障害者就業・生活支援センターと連携し、必要に応じて生徒への支援が行えるよう体制を整えてまいります。

生活保護受給者等の生活困窮者に対する就職支援については、宮古島市や沖縄県おしごと応援センターOne×One等の関係機関との連携を密にしながら、取り組んでまいります。

## 2 総合評価（※）

### 標準的な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職水河期世代の不安定就労者・無業者の件数	障害者の就職件数
令和5年度目標	1,741	1,504	322	90.0%	90.0%	70	57
令和5年度実績	1,768	1,714	326	80.4%	98.9%	82	61
目標達成状況	101%	113%	101%	未達成	達成	117%	107%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人者の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は年度当初に設定した目標値に対する「達成率（端数切捨て）」又は「達成」・「未達成」で表示。

# ハローワーク八重山 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

主要3指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）のうち、特に管内の深刻な人手不足の状況から充足件数を伸ばすことが喫緊の課題として、求人PRのため魅力ある求人票の作成に加え、事業所と求職者との接触機会を設けるため、各種企業説明会などを積極的に開催しました。

また、求職者に対しては積極的な求人情報提供を行い、雇用保険受給者に対しては再就職手当活用による早期再就職のメリットをPRし、早期再就職の意欲喚起を行うなど、求人者・求職者のマッチング強化の推進に取り組みました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組み

職員の育成を図る観点から、職業相談や求人受理時に必要な各種労働法の知識習得のため、労働基準監督署と連携して労働基準法等の労働法令研修を実施しました。

また、求人更新時、求人者へアプローチする際の対応方法についての研修を実施し、資質向上に取り組みました。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

○ 求人者へのハローワーク利用の満足度を高める取組前年度のハローワーク満足度調査の結果が84.3%と低調であったことから、求人者支援を抜本的に見直し、サービス改善につなげました。

#### ・求人窓口の相談体制の見直し

求人窓口においては、これまで求人者マイページからの求人提出を求めるあまり、求人者が一番求めている求人充足への方策の相談が疎かになっていたことが、求人者の満足度に繋がらない大きな要因であったことから、求人窓口においては、来所、電話問わず相談にあたる際は真摯に対応し、求人者の求めることに応えるため様々な情報提供が行えるように準備し、求人充足への方策を提案できるコンサルティングを意識した相談ができるよう、所内で検討したうえで研修を行いました。この取組により求人者マイページからの求人提出率は若干低下したものの、求人者の満足度向上には繋がっています。

- ・業界説明会、見学会の開催

人材不足分野を中心に、雇用のミスマッチ解消を目的として、各業界の「今」、「魅力」を伝える業界説明会や事業所見学ツアーを開催し、求職者に新たな気づきと応募を促す取り組みを行いました。

- ・ニーズに合わせた合同求人説明会の開催

年度替わりの転入者向けに石垣市との共催で転入者向けの生活関連説明会とパート求人説明会をセットで開催しました。また高年齢求職者が増加していることから、シニア向け企業説明会を開催し、高齢求職者と企業のマッチングに取り組みました。

- ・事業所向けの採用活動と雇用管理セミナーの開催

人材確保に苦慮している事業所に対して、採用活動のアドバイスと人材の流出を防ぐための適切な雇用管理に関するセミナー及び個別相談会を労働基準監督署、働き方改革推進支援センターと共催で開催し、参加した企業の担当者から高い評価をいただきました。

### (3) その他の業務運営についての分析等

- ・充足支援を積極的に行いましたが、求人者の満足には至らず 78.6%と昨年度を下回りました。

- ・充足支援に注力したことで、求職者に対しても積極的な求人情報、企業情報の提供などで一定のサービス向上には繋がったものの、就職がなかなか決まらない方やこれまでの職業生活で悩みを抱えている方、ブランクがあり就職活動へ踏み出せない方など、様々な悩みや課題を抱える求職者に対する相談が十分ではありませんでした。

### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

#### ① 充足支援の継続的な取り組み

令和5年度に実施した取り組みにより人手不足分野における就職件数を伸ばすことができたため、令和6年度も引き続き実施することとしていますが、今後はさらに事業所及び求職者のニーズを的確に把握したうえで実行に移してまいります。

#### ② 充足支援の新たな取り組み

八重山地域の以前からの課題である看護師不足について、ナースセンターと連携のもと看護分野の仕事に興味がある方に対するオンライン相談を定期的で開催してまいります。また、管内のみならず管外の求職者の応募も積極的に推進するため、管内主要病院のオンラインによる求人説明会を開催してまいります。

#### ③ 求職者支援サービスの拡充への取り組み

- 令和6年度については、求職者向け課題解決支援サービスに加え、関連機関である地域若者サポートステーションと連携した取組として、ハローワーク出張相談による求職者に対する職業興味を探る適職診断等を実施することで自己理解を促し、そこからミニ企業説明会や就職支援セミナー等への参加に繋げることで、職業理解・啓発的経験を促す流れを構築してまいります。
- 窓口職員においてはキャリアコンサルティング手法により課題解決支援を行うため、厚生労働省、労働局主催の研修に参加させることをはじめ、所内での研修や事例検討会を開催するなど窓口職員の相談スキル向上に積極的に取り組んでまいります。
- 沖縄県ナースセンターと連携し、ナースセンターのオンライン相談を定期的で開催し、看護師等への就職支援サービスの拡充により、人材不足解消に取り組んでまいります。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介により、正社員就職に結びついた就職水河期世代の不安定就労者・無業者の件数	人材不足分野の就職件数
令和5年度目標	1,535	1,446	342	90.0%	90.0%	65	237
令和5年度実績	1,548	1,514	349	78.6%	96.7%	51	302
目標達成状況	100%	104%	102%	未達成	達成	78%	127%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は年度当初に設定した目標値に対する「達成率(端数切捨て)」又は「達成」・「未達成」で表示。